

## 【長岡市ICアクセス道路整備】評価の内容にかかる審議結果

### 1 成果指標の妥当性などについて

#### 質疑

Q1 長岡市総合計画の基本方針に、「各地域や隣接市町村の中心部から、都心地区または高速道路のICに30分以内にアクセス可能な幹線道路の整備を進める」とありますが、指標1で15分圏域とした理由はなんですか。

A1 30分圏域だと、既存のICである程度確保できているため、指標として適切でないかと判断しました。長岡北SICを整備した中之島見附ICと長岡ICの間隔が12kmと長い状況でした。新しいICをその中間に整備するという事で、時間としても半分の15分に短縮するという考えで指標を設定しました。

Q2 指標3について、傾向線のプラス10%を目標値と設定したのは、人口減少など現在の社会情勢に反したものに思えますが、この設定は妥当だったのでしょうか。この計画の目標は魅力的なまちの形成にあると考えますが、道路整備だけでなく、関連事業、あるいは地元などと協力していかないと、この数字の達成は困難ではないでしょうか。

A2 平成14年から平成23年においては、観光入込客数が毎年10万人伸びている状況で、その傾向線をたどると、今後も増加していくことが予測されました。これに長岡北SICの整備効果として、プラス10%したものを設定しました。

社会状況の変化などを踏まえると、レベルが高すぎる目標設定だったと思います。

### 2 評価結果の内容について

- ・ 指標1（ICへの15分圏域人口）の達成度「○」について・・・「○」で合意
- ・ 指標2（長岡北SICの平均利用台数）の達成度「○」について・・・「○」で合意
- ・ 指標3（寺泊・和島・与板・三島地域の年間観光入込客数）の達成度「△」について・・・「△」で合意

天候不良や貸切バスの規制強化等の予測できなかった要因により、寺泊地域の観光客が大きく減少したが、その他3地域の合計は、当初現況値より増加しているため「△」とする。

#### 意見

- ・ 指標3について、人口減少や天候不良、現在のコロナウイルスの流行などがあると観光が縮小してしまうため、観光入込客数は指標として難しかったのではないかと思います。
- ・ 指標3の結果については、寺泊の落ち込みが最大の理由だと思います。海水浴客の減少が要因のひとつだと考えられますが、平成24年に発生した関越道高速ツアー

バス事故を受け、平成 25 年 8 月に貸切バスの規制が強化され、ワンマン運行ができる時間や距離に上限が定められたことで、ツアーバスが組みにくくなった状況があり、市内で最大の観光地である寺泊の魚市場の大型バスの受入れが落ち込んでいるという実態があります。

また、NHKの大河ドラマ「天地人」が放送中の時には、与板地域の観光入込客数が増加していたなど、観光入込客数は、その時々の流れで大きく変わってくると思います。

道路が整備され便利になれば利用者は増えると思いますが、ハード面だけでなく、観光事業者の方の努力がなければ、観光客は増えないと考えますので、指標の目標値には達していませんが、「△」はやむを得ないと考えます。

- ・ 指標 3 について、寺泊地域以外の 3 地域の合計が現況値より増加しているということで、「△」が良いと思います。ただし、全体の数値だけ見ると現況値より減っているため、この点はしっかり説明が必要だと思えます。
- ・ 観光に関する指標について、入込客数だけで判断するのではなく、客単価の増加など新しい判断基準を考えていかないといけないと思えます。

### 3 事業効果等について

#### 意見

- ・ 長岡北S I Cを含めた I Cを、医療関係機関が十分活用して、緊急対応を迅速にできることはプラスの要素だと思います。  
また、長岡北S I C周辺の道路が整備されることで、デイサービス等の送迎が円滑化されるなど、医療や福祉にも有効に活用できると思います。
- ・ 長岡北S I Cの供用により、様々な整備効果があることを改めて理解しました。今後は、この事業による効果やメリットを市民に丁寧に説明していただきたい。それにより、市が行う事業に対して、より理解され協力を得られると思います。
- ・ 長岡北S I C付近に造成中の流通産業団地に企業が立地することで、その企業だけでなく、建築業や建物管理業など幅広い分野で経済効果が見込めるものと期待しています。

### 4 今後の社会資本整備について

#### 意見

- ・ 流通産業団地が活性化することで、通勤時間帯が混雑し、長岡北S I Cへのアクセスが悪くなるという危惧もありますので、この点を十分考慮してもらいたい。
- ・ 社会資本整備全体の意見として、開発の機会を利用して、エコロジカル・ランドスケープ手法を活用し環境保全に取り組んでいただきたい。つまり、流通産業団地の開発に合わせ、地域内の環境を保全、あるいは創出していくということです。

このようなことの積み重ねによって、地域の社会環境が良い方向に向かっていくのではないかと考えておりますので、関係機関と協力し、地域の環境保全、ひいては、魅力的なまちの形成に取り組んでいただきたい。

- 流通・物流において、道路網の形成だけでなく、鉄道貨物の活用について検討してはどうでしょうか。鉄道について日本海側は旅客以外にも貨物が重要と伺ったことがあります。流通産業団地周辺の道路は便利で、北陸と関東を結ぶところにありますが、もう少し鉄道貨物などを取り込むような視点もあると良いと思います。
- 長岡北S I C周辺の観光PRが不十分だと感じる。看板を設置して視覚的に情報を得られるようにすることは有効と考えます。
- 長岡市は大都市と違い、交通の足は道路になると思います。市民が安全に便利に暮らせるように、新たな道路整備あるいは道路改良を行っていただきたい。
- 地元に住んでいると、埋もれた観光地が多くあると実感しており、このような場所について、アクセス性の良さを高速道路利用者などに向け情報発信することで、集客の効果が上がるのではないかと思います。